

オルタナティブ投資情報

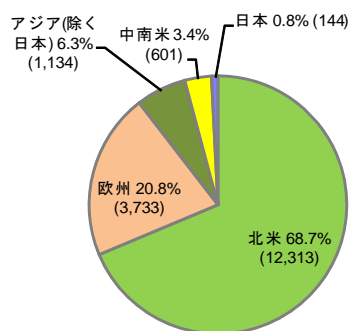
1. ヘッジファンドの資金動向（投資地域別）

投資地域別にみたヘッジファンドの運用残高、運用損益による増減、資金の純流出入の動向は以下の通りである（データはユーリカヘッジの推計）。

当月（2013年1月）末のヘッジファンド全体の運用残高は、前月末より178億ドル増加し、1兆7,925億ドルと推計される（図表1）。当月は、日本を除く全地域において純流入となった。一方、運用損益は全地域でプラスとなり、全体では、139億ドルのプラスとなった。このうち、北米地域の運用損益が91億ドルのプラスで、全体の65%強を占めた。日本は8月から6カ月連続で純流出となっている（図表3-5）。

図表1 ヘッジファンドの投資地域別運用残高と資金フロー

(a) 2013年1月末の運用残高の地域別比率(括弧内は億ドル)



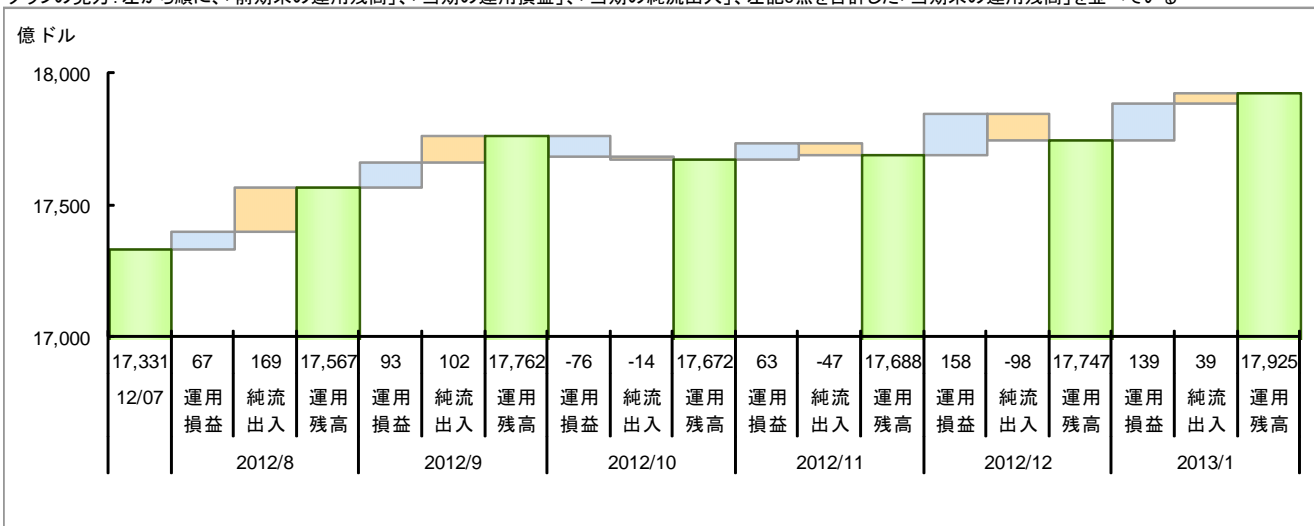
(b) 運用残高、運用損益、純流出入(億ドル)

投資地域	1月末 運用残高 a + b + c	1月末 構成比	12月末 運用残高 a	1月中 運用損益 b	1月中 純流出入 c	運用損益 + 純流出入 b + c
① 北米	12,313	68.7%	12,201	91	21	112
② 欧州	3,733	20.8%	3,693	29	11	40
③ アジア(除く日本)	1,134	6.3%	1,121	13	0	13
④ 中南米	601	3.4%	589	4	9	12
⑤ 日本	144	0.8%	144	2	-2	0
全体	17,925	100.0%	17,747	139	39	178

(出所) ユーリカヘッジよりNFI作成

図表2 ヘッジファンド全体の運用残高と資金フロー

グラフの見方: 左から順に、「前期末の運用残高」、「当期の運用損益」、「当期の純流出入」、左記3点を合計した「当期末の運用残高」を並べている



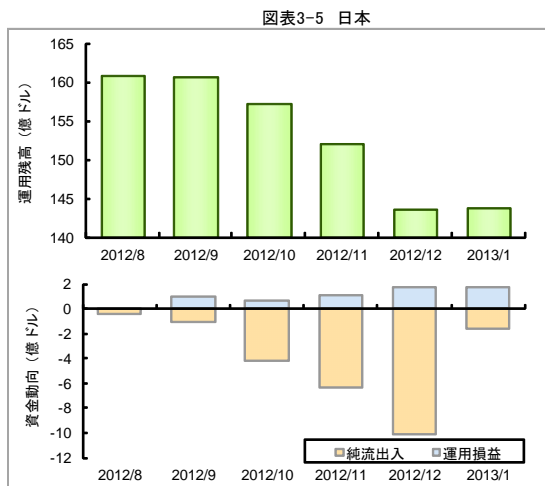
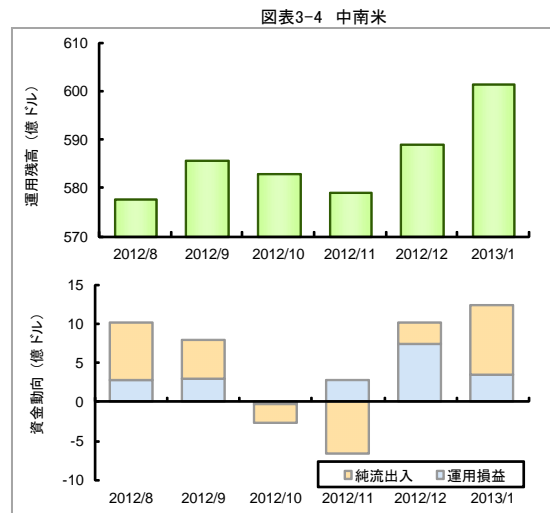
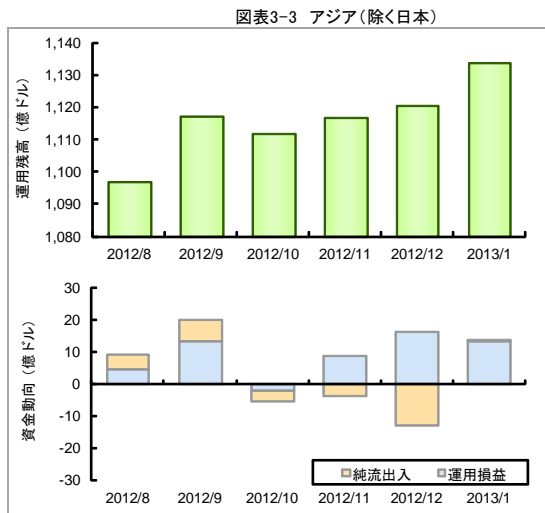
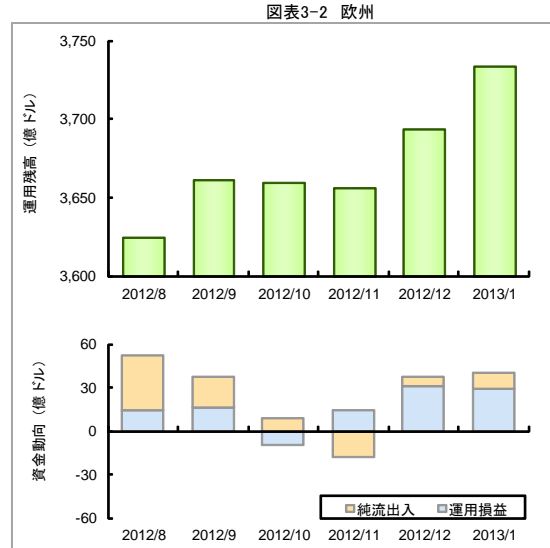
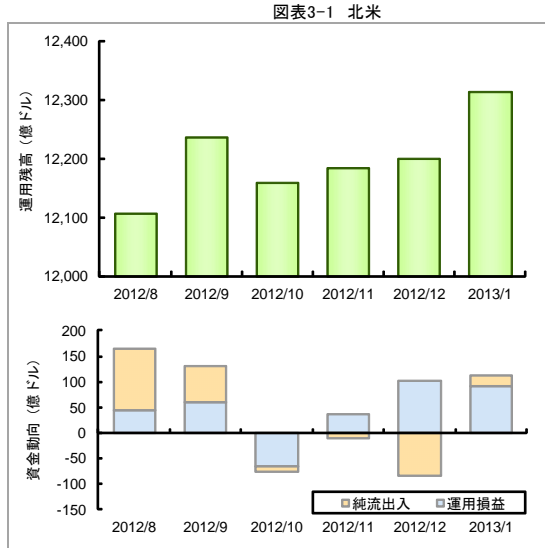
(出所) ユーリカヘッジよりNFI作成

(参考) ユーリカヘッジ・ヘッジファンド指数の騰落率※1, 2

2012/8	2012/9	2012/10	2012/11	2012/12	2013/1
0.63%	0.92%	-0.29%	0.49%	1.44%	2.17%

※1: ユーリカヘッジのヘッジファンド指数は単純平均で算出されている
※2: データ取得日は2013年2月22日

図表3 ヘッジファンドの投資地域別資金動向



※グラフの縦軸のスケールは、地域により異なりますので、ご注意ください

以下にユーリカヘッジの免責事項を引用する
Eurekahedge (“ユーリカヘッジ”)のデータは、各運用機関及び外部の情報に元で作成しております。ユーリカヘッジ及びその関係者は情報の正確性、完全性、市場性、仮定、計算などについて保証を行っておりません。情報の閲覧・利用者は、データの使用に際して、情報における全てのリスクを認識し、負う必要があります。ユーリカヘッジではデータ及び情報に基づきいかなる理由の損害に関しても責任を負いかねます。データは、特定のファンド、有価証券、または金融商品、企業への投資に関する勧誘或いは販売勧誘を構成するものではなく、また、金融機関や専門家としての助言として解釈されるべきではありません。Copyright © 2011 Eurekahedge Pte Ltd

(出所)ユーリカヘッジよりNFI作成

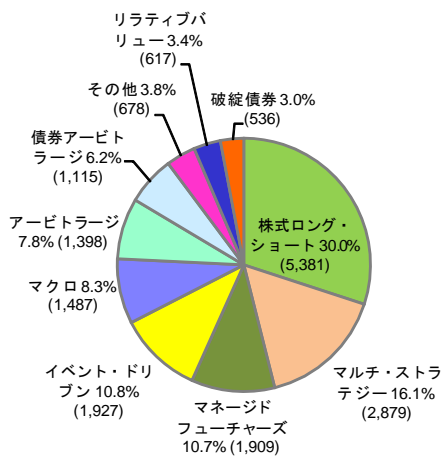
2. ヘッジファンドの資金動向（投資戦略別）

投資戦略別にみたヘッジファンドの運用残高、運用損益による増減、資金の純流出入の動向は以下の通りである（データはユーリカヘッジの推計）。

当月（2013年1月）は、10戦略中5戦略で純流入となり、全体では39億ドルの純流入となった。運用損益についてみると、全戦略でプラスとなり、全体では139億ドルのプラスであった。
個別戦略では、株式ロング・ショート戦略が資金流入、運用損益ともに全戦略の中で最大であった。

図表4 ヘッジファンドの投資戦略別運用残高と資金フロー

(a) 2013年1月末の運用残高の戦略別比率(括弧内は億ドル)



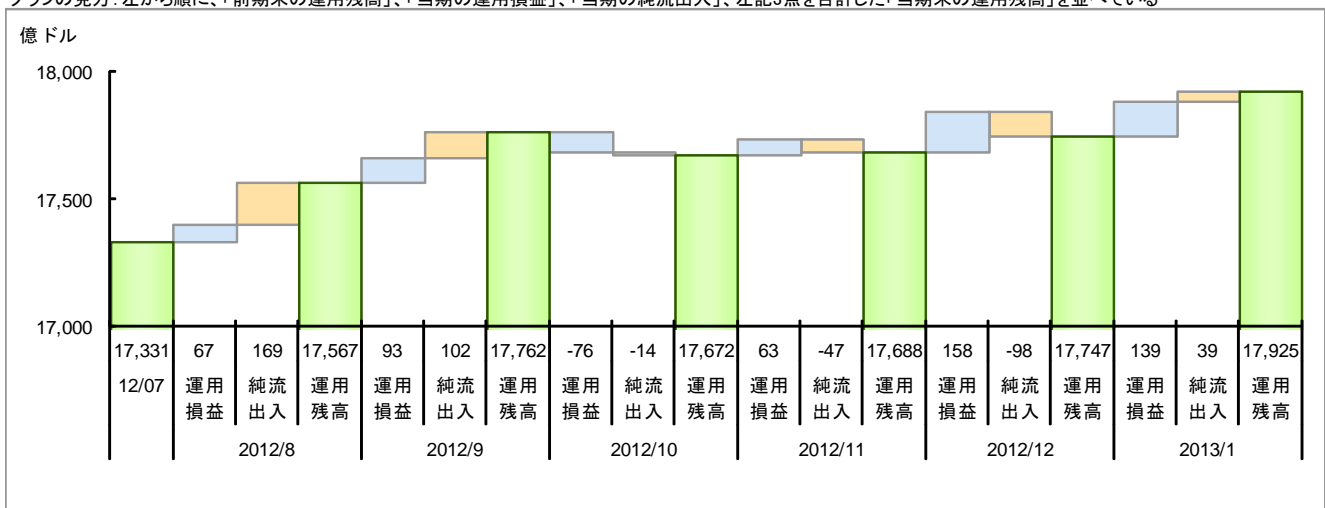
(b) 運用残高、運用損益、純流出入(億ドル)

投資戦略	1月末 運用残高 a + b + c	1月末 構成比 a	12月末 運用残高 a	1月中 運用損益 b	1月中 純流出入 c	運用損益 + 純流出入 b + c
① 株式ロング・ショート	5,381	30.0%	5,271	73	36	109
② マルチ・ストラテジー	2,879	16.1%	2,848	22	8	31
③ マネージド・フューチャーズ	1,909	10.7%	1,897	20	-8	12
④ イベント・ドリブン	1,927	10.8%	1,920	10	-3	7
⑤ マクロ	1,487	8.3%	1,473	4	9	13
⑥ アービトラージ	1,398	7.8%	1,402	4	-8	-4
⑦ 債券アービトラージ	1,115	6.2%	1,097	2	16	18
⑧ その他	678	3.8%	674	1	3	4
⑨ リラティブバリュ	617	3.4%	626	1	-10	-9
⑩ 破綻債券	536	3.0%	538	3	-5	-2
全体	17,925	100.0%	17,747	139	39	178

(出所) ユーリカヘッジよりNFI作成

図表5 ヘッジファンド全体の運用残高と資金フロー

グラフの見方: 左から順に、「前期末の運用残高」、「当期の運用損益」、「当期の純流出入」、左記3点を合計した「当期末の運用残高」を並べている



(出所) ユーリカヘッジよりNFI作成

(参考) ユーリカヘッジ・ヘッジファンド指数の騰落率※1, 2

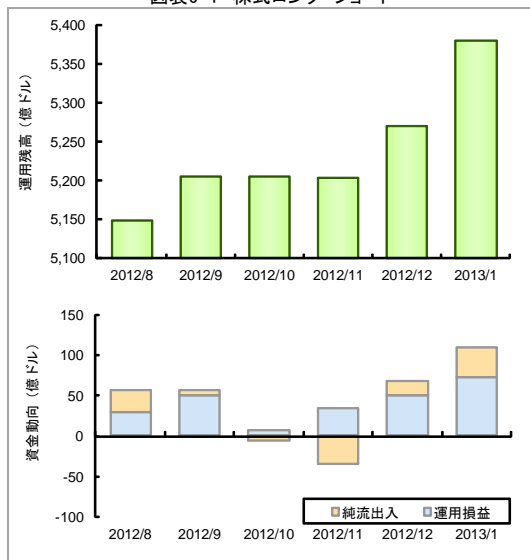
2012/8	2012/9	2012/10	2012/11	2012/12	2013/1
0.63%	0.92%	-0.29%	0.49%	1.44%	2.17%

※1: ユーリカヘッジのヘッジファンド指数は単純平均で算出されている

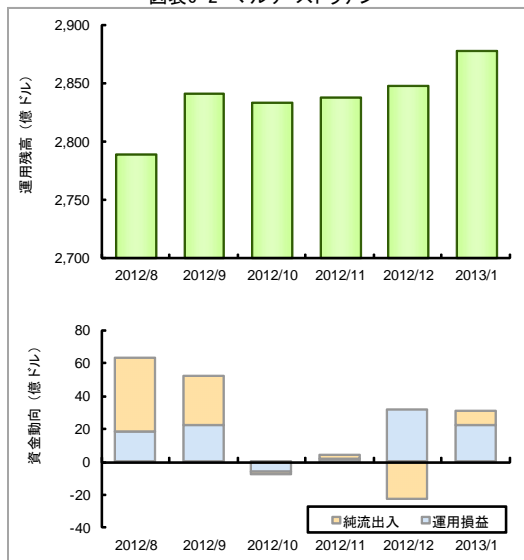
※2: データ取得日は2013年2月22日

図表6 ヘッジファンドの投資戦略別資金動向

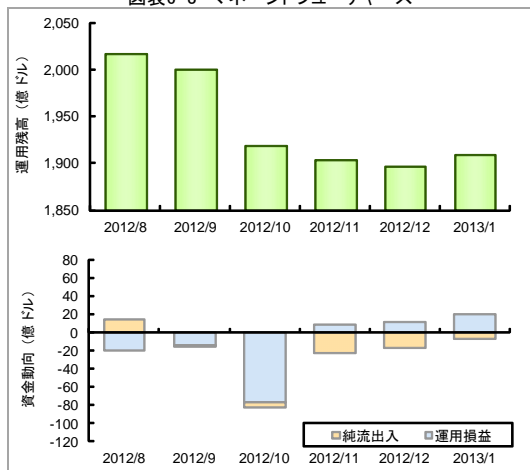
図表6-1 株式ロング・ショート



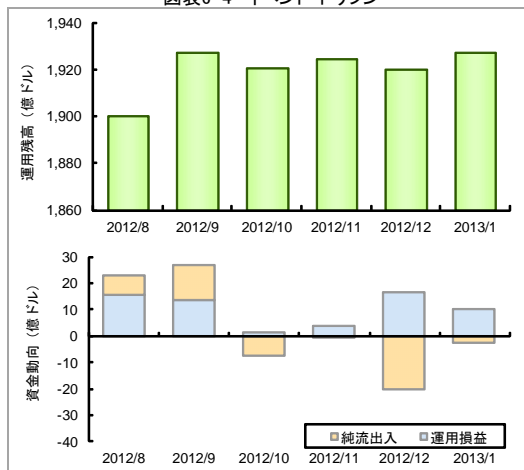
図表6-2 マルチ・ストラテジー



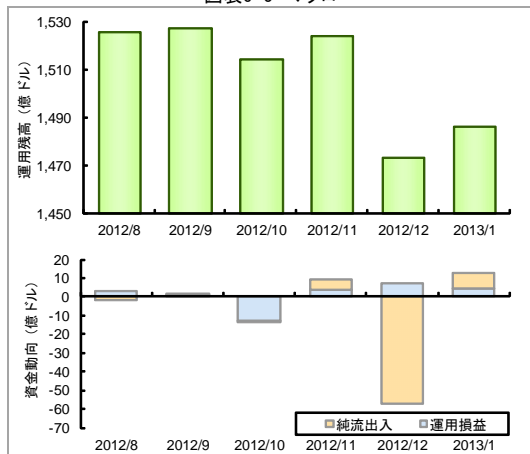
図表6-3 マネージド・フューチャーズ



図表6-4 イベント・ドリブン



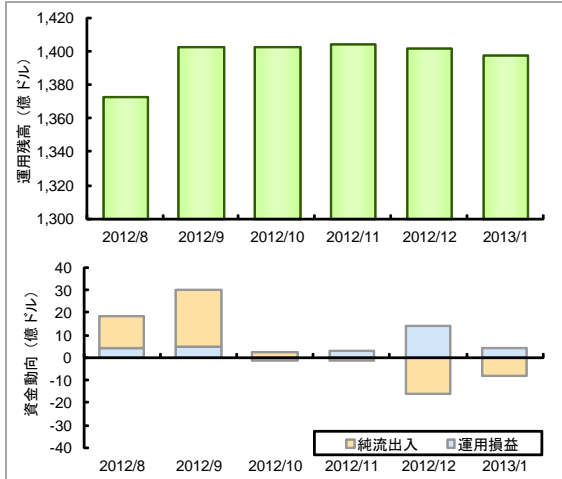
図表6-5 マクロ



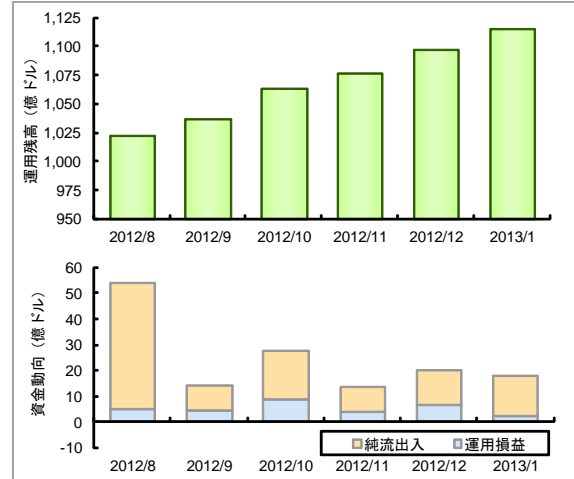
※グラフの縦軸のスケールは、戦略により異なりますので、ご注意ください

(出所) ユーリカヘッジよりNFI作成

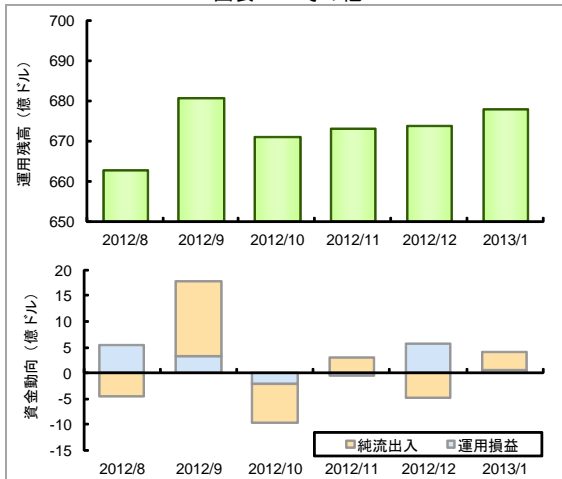
図表6-6 アービトラージ



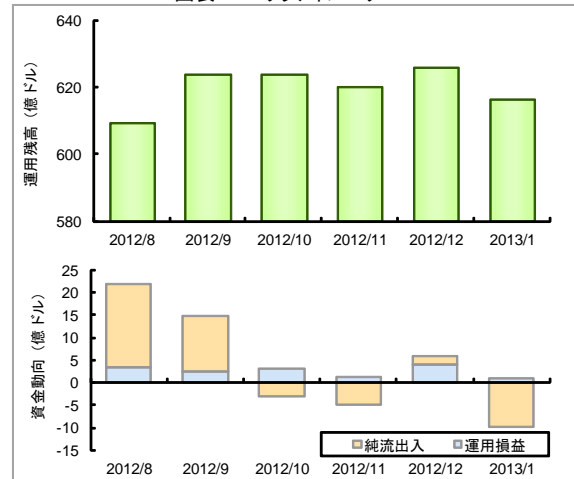
図表6-7 債券アービトラージ



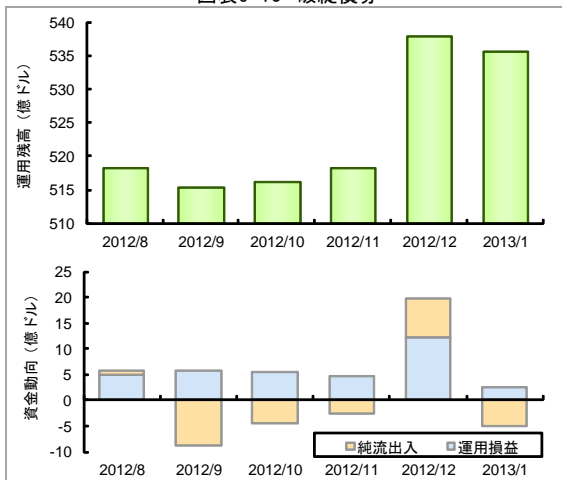
図表6-8 その他



図表6-9 リラティブバリュー



図表6-10 破綻債券



(出所) ユーリカヘッジよりNFI作成

※グラフの縦軸のスケールは、戦略により異なりますので、ご注意ください

資産運用研究所 成田

以下にユーリカヘッジの免責事項を引用する
Eurekahedge (“ユーリカヘッジ”)のデータは、各運用機関及び外部の情報に元を作成しております。ユーリカヘッジ及びその関係者は情報の正確性、完全性、市場性、仮定、計算などについて保証を行っておりません。情報の閲覧・利用者は、データの使用に際して、情報における全てのリスクを認識し、負う必要があります。ユーリカヘッジではデータ及び情報に基づかない理由の損害に関しても責任を負いかねます。データは、特定のファンド、有価証券、または金融商品、企業への投資に関する勧誘或いは販売勧誘を構成するものではなく、また、金融機関や専門家としての助言として解釈されるべきではありません。Copyright © 2011 Eurekahedge Pte Ltd

Appendix

- ▶ ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックス (Eurekahedge Hedge Fund Indices) は、ユーリカヘッジが保有するヘッジファンド・データベースのファンドを組入れている。
- ▶ この指数には 10 本の戦略別サブインデックスがあり、各戦略の概要は以下の通りである。

アービトラージ(Arbitrage)

異なる市場において、同一商品の価格が異なるという市場の非効率性を利用し利益を上げる戦略。

マネージドフューチャーズ(CTA / Managed Futures)

商品先物、オプション、先物為替取引に直接または商品投資顧問業者を仲介し投資する戦略。

破綻債券(Distressed Debt)

財務、もしくは経営面で困難に陥った企業の債券に投資し、その後の企業の信用力回復に伴う債券価格の上昇から利益を上げる戦略。

イベント・ドリブン(Event Driven)

近い将来に予想される、もしくは起きる可能性のある企業の合併、公募増資、買収などのイベントを利用した戦略。

債券アービトラージ(Fixed Income)

フィックス・インカム証券とそのデリバティブ商品においてロングとショートのパポジションを組み合わせる戦略。

株式ロング・ショート(Long / Short Equities)

価格が上がる見込みの株式をロングし、逆に下がりそうな株式をショートし、相場のトレンドに左右されずに利益を上げる戦略。

マクロ(Macro)

トップダウン型のマクロ的な視野（金利や通貨など）に基づいて投資ポジションを取る戦略。

マルチ・ストラテジー(Multi-Strategy)

複数の投資戦略を組み合わせた戦略。

リラティブバリュー (Relative Value)

アセット間のミスプライスを利用し、低リスクで収益を追求する戦略。

その他(Others)

他のヘッジファンド戦略で使用されている多様な投資機会にアロケーションを行う戦略。

(出所) ユーリカヘッジより NFI 作成